

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

300号

2016年新年号

자주

発行 在日韓国民主統一連合
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

新年辞

歴史に生きる者が、最後は勝利する

韓統連大阪本部代表委員 金隆司 (キム・ユンソ)

●歴史を学ばない首相と大統領



昨年(2015年)は祖国解放70周年、日本の敗戦70周年という歴史の節目の年でした。

過去の歴史の教訓を学び、よりよい未来を創造する契機とするべき年でしたが、残念ながらまったく反対の一年になってしまいました。

8月に発表された安倍談話は過去の侵略への反省はなく、

おわびどころか、これからは謝罪しないと世界に発言した厚顔無恥な内容でした。そして、10月には憲法違反の「戦争法案」を強行採決させ、朝鮮半島有事の際には米軍の指揮の下、日本の自衛隊が韓国に上陸する可能性を高めました。

一方、朴槿恵大統領は8月に地雷で兵士が負傷した事故を一方的に北朝鮮の仕業ときめつけ、軍事境界線での反北宣伝活動を再開したために緊張が一気に高まりました。幸い、北が対話を呼びかけ8・25合意のもと和解の流れに急転し、秋には離散家族の再会が実現しましたが、一時は一触即発の危険な状態でした。

11月には「日本軍慰安婦問題が解決されなければやらない」としていた韓日首脳会談を開催したものの、日本政府の慰安婦問題の国家的・法的責任を回避する従来の姿勢に変わりはなく、安倍首相の傲慢さと朴大統領の低姿勢ぶりが際立った会談でした。

朴大統領は独裁政権を美化し、日帝時代の親日派を擁護する歴史教科書の国定化を強行しようとして、今、国民の大きな反発を買っています。過去の侵略を反省しない日本の首相と、過去の侵略に協力した人々を再評価しようとする韓国大統領は表面的には対立しているようですが、実はアメ

リカを父とあおぐ仲良し兄妹といえるでしょう。

●歴史に生きる民衆

11月に開催された朴政権を糾弾する民衆総決起大会には13万人が参加し、放水銃により69歳の農民活動家が危篤状態になるという弾圧に抗議して開かれた12月5日の民衆大会には5万人が参加しました。選挙公約を何ひとつ実行せず、独裁化を強める朴政権に対する国民の怒りはますます高まっています。民衆大会の力を土台に在野と野党が一致団結し、今年(2016年)の4月の総選挙に勝利し、来年12月の大統領選挙で政権交代を実現しなければなりません。しかし、今、残念ながら野党が団結できず、勝利の展望が見えていません。

日本も韓国も厳しい状況を打開できる展望が見えず、あきらめの雰囲気の一部に感じられます。こんな時期こそ私たちは、過去の歴史の教訓を学ばなければなりません。それは日帝末期の一部の人々の投降と変節と背信と墮落です。一寸先が見えない暗黒の中で「歴史は死んだ」「韓民族は独立する力がない」と叫んだ人たちは、1945年8月15日が来ることを予想できませんでした。歴史を信じずに、歴史に生きられなかった者は、結局反逆し、歴史を信じ、歴史に生きたものは最後に勝利したのです。歴史を信じないということは、民衆を信じないことであり、民衆を信じないということは自分を信じないということです。

韓統連大阪本部は、今年も祖国の統一にむけて同胞の皆さんとともに、韓国の民主勢力と日本の良心勢力との連携をより強め、全力で闘っていきます。新年が皆さんにとって幸多い年になることを祈願し、新年の挨拶とします。

「戦争法」より、アジア連帯を

日朝国交正常化の早期実現を求める
市民連帯・大阪 共同代表 有元 幹明

今年も祝賀する気になれないで2016年を迎えました。また、^{よかい} 齢80の私には「冥途への一里塚」をじわーっと感じる新年でもあります。



2015年は明治以来、無謀・非道なアジアへの武力侵略の挙句、軍事大国アメリカを敵に回し悲惨な被害を受け敗戦、侵略を反省した新憲法でまがりなりに「戦争をしなかった70年」の節目の年でした。

その2015年、日本は「戦争のできる国」へと舵を切ってしまった歴史的に見ても大きなターニングポイントとなる年となりました。

先の戦争で悲惨な体験をした私は、ずーっと平和にこだわり、アジアの国々から信頼される日本をつくりたいと「日朝市民連帯」運動に取り組み、「憲法9条世界へ未来へ(9条連)」という運動体をつくり、近畿の代表世話人をしています。

昨年7月、9条連結成20周年全国総会に韓国から韓日平和議員会・金榮泌事務局長を招き挨拶を受けました。その挨拶で「韓国は反日だと日本では言うが、韓国では植民地支配の問題が解決されていないという共通認識がある。この認識が日本と違う。土井たか子さんは前に東アジア非核平和共同体を提唱した。中国は核保有国で、日本もアメリカの核の傘に入っている。東アジア全体で非核地帯を作れるか疑問を持ったが、今、その遺志を受け継ぐべきだ。日本の憲法9条は韓国の平和にかかわる。改正(改悪)されたら韓国の平和に脅威となる。9条は日本がつくった“製品“の中で最も普遍的で付加価値の高いものだ。9条連の正式名称は“憲法9条世界へ未来へ連絡会”だ。9条を世界に輸出すべきだ。そうしたら世界中の変な国が普通の国になる。韓国に9条連ができたなら私は韓国支部長になりますよ」と現下の情勢への懸念をメッセージされました。

金さんの言葉にあるように朝鮮半島で、アジア各国で今の日本の動きをどのように見ているかという認識に立つことが大切です。

以前、北京の友人から「日本は作れないものは

新年明けましておめでとうございます。

「チャジュ(自主)」2016年新年号では、日頃から韓統連大阪本部と連帯関係にある各界の方々から、新年辞を送って頂きましたので、紹介させていただきます。

「夜深星愈輝」

在日韓国良心囚同友会代表 李哲

在日韓国良心囚同友会は、韓統連と自主(チャジュ)の読者の皆様に新年のご挨拶を申し上げます。

去年は私たち^{李哲}在日政治犯にとって画期的な年でした。皆様ご存じのように、去年は11・22事件から40周年の年でした。私たちは数年来、過去の裁判のやり直しを求める再審闘争を展開してきました。そしてその結果、昨年まで24名の再審無罪を勝ち取ることができました。私たちはこの場を借りて、私たちのことを心配し、また応援して下さった皆様に深く感謝いたします。



去年は日本においても、韓国においても、執権与党の反動性と横暴さが極まったような1年でした。しかし、夜深ければ星の輝きは増すものです。私はこういう時期だからこそ、韓統連の自主・民主・統一の理念がますます輝くものと信じます。

在日韓国良心囚同友会は、2016年も皆様と共に前進する所存ですので、新年もどうぞよろしく願いいたします。新年が祖国の民主主義と南北和解にとって素晴らしい年となりますよう、また自主の読者の皆様とご家族にとっても、幸せな年となりますよう祈願いたします。



ない」と思っているだろうが、「アジアで友人は作れないよ」と言われたことを思い出します。

安倍政権誕生以来、歴史を改ざん、修正する声が強まり、恥ずかしきヘイトスピーチを大音量でがなり立てる連中に腹の底から憤りを覚えています。日朝の市民の連帯を強化し、歴史を直視し、信頼関係を確立することで日本の針路を立て直しましょう。

今年も日朝国交正常化の実現を求める運動、朝鮮学校授業料無償化の獲得、大阪府・市の補助金支給を求める運動、朝鮮半島の平和的統一への取り組みを、そして「戦争法」廃止の取り組みなどを日常の連帯行動を通じて一層強める年にしましょう。

「歴史は繰り返す」のか

女性会議大阪代表 永久 睦子

2015年、日本では安倍政権が集団的自衛権を容認する「安保関連法」を強行し、「戦争する国」へと大きく舵をきりました。そして、この際一挙に軍国日本と日米軍事同盟を不動のものにしようと強権を振るっています。沖縄の辺野古新基地建設強行はその最たるものです。先の戦争による被害と加害の痛み、反省から生まれた「日本国憲法」はどこへ行ったのでしょうか。

朴槿恵大統領もまた、米軍基地を増強させて、朝鮮の目と鼻の先で韓米合同軍事演習を繰り返し、6・15南北共同宣言を反故にして対北敵視政策をとり続けます。一方、独裁政治に抗議して集まった市民には「80年光州」や「87年6月民主抗争」を想わせる「殺人的弾圧」を加えています。

「歴史は繰り返す」のでしょうか。

私たちは毎年7月27日に「朝鮮戦争の停戦協定を平和協定に」をテーマに、韓国から闘いの最前線に立つ活動家の方々を招いて集会を開き、8月15日には訪韓団を組織してきました。「私たちは必ず勝つ」という言葉と明るい笑顔に、そのたびに勇気と希望を得ました。昨年11月の「朝鮮学校を守るための裁判支援集会」に、韓国から



参加したソン・ミヒさんの連帯挨拶は「この闘いは、人間の尊厳のために闘う韓国・在日・日本の民衆の連帯で勝利します。あともう少しです。がんばりましょう」でした。

京都朝鮮初級学校襲撃事件や各地で起こっているヘイト・クライムは日本社会の痛みであり、私たちの手で治癒させねばなりません。そして、国や自治体によるヘイト・クライムは戦争につながる犯罪であり、団結して止めねばなりません。

世界は今「テロ」と「報復」が連鎖、拡大し、移民排斥の動きが高まっています。しかし一方、貧困と爆撃の恐怖で絶望の淵にある人々を想い、「この隣人と共に生きよう」と呼びかけるデモが起こっています。歴史は一進一退はしても、必ず民衆の力で拓かれるでしょう。

民衆の国際連帯で 東アジアの平和・共生を勝ち取ろう 秘密保護法 戦争法 ロックアクション 奈良 共同代表 加来 洋八郎

明けましておめでとうございます。本年は戦後70年かけてできなかったアジアの平和・共生を、アジア民衆の国境を越え

た連帯の力で侵略、被侵略、間接支配の歴史を教訓にアメリカの民衆とも連帯し、日韓両国がアメリカから真に自立し、平和・共生を追求する民主政権樹立に向かう始まりにしよう。

読者の皆様のご健勝・ご健闘を祈念します。

昨年11月、訪米した沖縄「建白書」を実現し未来を拓く島ぐるみ会議の呉屋守将共同代表(金秀グループ会長)らは11月20日「米労働総同盟産別会議(AFL-CIO)」を訪ね、米軍普天間飛行場の県外・国外移設に向けた協力を求めました。キャッシー・ファインゴールド国際部長は「平和への闘いを広めていきたい」と述べ、協力を表明したと報道されました。

安倍政権は東京から機動隊を派遣、昨年12月5日の山城博治議長ら3人の身柄拘束など弾圧を強め、翁長知事を選出した沖縄の現状、自治を認めず、辺野古3区への直接買収など法無視の介入を行っています。しかし、沖縄の人々は12月1



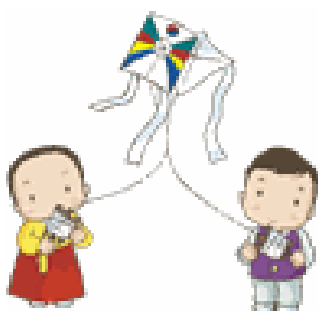
4日「辺野古新基地を作らせないオール沖縄会議」を結成しました。山城議長の弁を借りると、誇りと勇気、とりわけ喜びを持って闘う体制を作り、全国へ結集を呼びかけました。

一方、韓国では朴槿恵政権の労働法改悪反対、歴史教科書国定化反対、主食用コメ輸入阻止、対北敵対政策反対などを求める13万人もの民衆総決起に、意識不明に陥るほどの重傷者を出す大弾圧を行いました。この大弾圧に抗議する12月5日の第2次民衆総決起大会は5万人余りが集まりました。前回の時とは違い、市民社会団体・宗教界・野党まで積極的に結集して底辺が拡大しています。

アメリカは相対的に急速に力を落とし、アジアでの影響力を維持するため日韓両政府をアジアリバランス戦略に引きずり込もうと必死です。アメリカの戦略に従う日韓両政府がグローバル企業防衛で、民衆を戦争に駆り出すための法律制定・改悪を急ぎ、抵抗する民衆には弾圧を強めています。

私たちはこれまで大阪を中心に日韓交流事業を重ねてきましたが、新年は遂に「日韓平和連帯」を結成して、連帯強化に恒常的役割を果たすことを確認しました。

私たちは日常の付き合い、様々な課題での闘争現場から日・米・韓・中・朝民衆の国際連帯を強め、陰りを見せる新自由主義及びグローバル企業の代弁政治や、アジアリバランス戦略と闘い、働く者の貧困・格差の解消、平和を求める等課題解決のために自国政府と闘いましょう。とりわけ本年は、日米韓と相次いで国政選挙が行われます。「ピンチをチャンスに」を合言葉に前進しましょう。



2016年は、東アジアの平和・友好の促進に向け進歩勢力が先頭に立ち、朝鮮半島の自主的平和統一の実現、日朝・日韓民衆の連帯を広げよう

おおさかユニオンネットワーク代表
垣沼 陽輔

新年あけましておめでとうございます。

昨年、安倍首相が集団的自衛権行使を具体的に進めるため安保法制11法案を通常国会に一括



審議にして提案しました。多くの国民が全国各地で戦争法案の廃案を求める声をあげ、8月30日には国会前に12万人余りが、大阪では扇町公園に3万人が集い「戦争法案を廃案しろ！」の声をあげました。しかし、安倍政権は9月19日に参議院で強行採決して成立させました。

平和憲法のもと、70年間自らが戦地に赴くことはありませんでしたが、これからは自衛隊員が米軍などの戦闘に組み込まれ、事態によっては戦死する可能性が出てきました。

一方、非正規労働者の増大をもたらした雇用の不安定化が促進される派遣法が改悪されました。これまでであった特定26業種の枠組みは廃止され、3年間の期間制限も同一事業所内で部署を変更すれば、引き続き派遣労働者を雇用することができるようになりました。これまでであった3年間を超えた派遣労働者の直接雇用申し入れが形骸化される恐れが出てきました。

2016年度の通常国会に残業代ゼロ法案や解雇規制緩和法案が出される可能性があります。これ以上の労働法制の規制緩和を阻止しなければ、労働者の奴隷化が促進されます。

おおさかユニオンネットワークとして、労働法制改悪反対の闘いを組織していきます。

朝鮮高級学校が高校無償化除外から6年を経ても実現していません。日本に生まれ育った在日朝鮮人の子どもたちだけを差別し、排除することは絶対に許されません。一日も早く高校無償化が実現できるよう共に取り組んでいきます。

日本政府は朝鮮民主主義人民共和国の脅威を煽り、京都府丹後半島の経ヶ岬に米軍基地を建設し、アメリカ本土への弾道ミサイル防衛のため「Xバ

ンドレーダー」の配備を強行しました。設置後に米軍属による交通事故や大型発電機の騒音など、住民生活に影響が出ており、住民の不安が増大しています。

2016年は安倍政権による憲法違反の暴走をやめさせ、憲法改悪を阻止し、朝鮮半島の自主的平和統一実現に向け、韓日の進歩勢力が団結して共同闘争の勝利をめざします。

本年も韓統連の皆様が「6. 15 共同宣言実践日本地域委員会」の先頭に立ち、奮闘されることを期待します。

戦争への対抗運動を巻き起こし アジアの平和を実現しましょう！

しないさせない戦争協力

関西ネットワーク共同代表 中北龍太郎

安倍政権は民主主義と憲法を踏みにじって、戦後70年積み重ねてきた他の国の人々を殺し、殺されないこの国のかたちを壊し、戦争への道を突き進んでいます。



昨年、安倍政権は暴力的・独裁的手法で戦争法を強行採決しました。これは憲法を破壊する壊憲クーデターにはほかなりません。戦争法の制定により、自衛隊が地球のあらゆる場所で切れ目なく、武力行使を行う仕掛けが何重にも張りめぐられました。戦争法を廃止しない限り、戦後初めての武力行使、他の国の人々を殺し、自衛隊員が戦死する日が確実にやってきます。また対米従属の下での日米共同戦争体制がさらに深まることは必至です。

戦争する国づくりを推し進める安倍政治の根本理念は「戦後レジームからの脱却」です。歴史改ざん主義者である安倍は、明治以来の日本の戦争は自存・自衛の戦争であり、侵略戦争を裁いた東京裁判は勝者による誤った断罪であり、民主改革は日本を弱体化するためだったととらえています。安倍はこうした歴史観に立って戦後民主改革によって誕生した日本国憲法と、その理念のもとにつくられた平和と人権、民主主義の体制から脱却し、強い国をつくり、国のために命をささげる「美しい国」を取り戻そうとしているのです。

戦争への道は、もちろん戦争法の制定で完結するものではなく、軍事・政治・社会・経済・文化・精神の戦争化が多面的に推し進められようとしています。その行きつく先は戦争です。戦争への一步一步が民主主義を次々となぎ倒しながら進んでいこうとしています。

新たな戦前、戦争前夜といわれる状況下、戦争への対抗運動を巻き起こして戦争法を廃止し、戦後民主主義、平和主義を破壊する新たなファシズムを阻止しましょう！

日韓両国の反動勢力との闘いを広げましょう。日韓民衆連帯を強めましょう。共にアジアの平和を築きましょう。

韓統連の今年の飛躍を心から祈ります。

2016年をむかえて

日朝日韓連帯大阪連絡会議

(ヨンデネット大阪)共同世話人 林 真樹

2015年は日本の敗戦70年、日韓条約50年という節目の年でした。



安倍政権は河野談話、村山談話を形骸化させ、戦争とファシズムへの道を進めてきました。

ヨンデネット大阪は7月に「戦争をする国づくりにNO！東アジアの平和確立を」をテーマとした集会を開催し、真実に根ざした歴史認識の必要性を改めて確認し、戦争法案に反対する闘いにも積極的に取り組んできました。

また2015年は中学校の教科書検定・採択があり、私たちは大阪ユニオンネットワークとともに、府内全市町村への申し入れ行動を取り組みましたが、大阪市をはじめ「おおさか維新の会」系といわれる首長の自治体の多くが平和理念を否定し、偏狭なナショナリズムと国際社会に孤立するような歴史観・価値観を有した教科書の採用を強行しました。

一方、韓国でも朴槿恵政権によって中学・高校の歴史教科書を政府が編修する「国定教科書」に一本化する動きが強まっており、労組・市民団体・学生らによる反対運動が展開されています。為政者が統治を強化する際に、教育がその道具にされてきたことは歴史が証明しています。

過去の過ちを真摯に反省し、現在を問い、未来に向き合うことが今こそ求められています。ヨンデネット大阪は日韓労働者・民衆連帯の取り組みとともに、憲法改悪に進む安倍政権と、その補完勢力である橋下—おおさか維新の会を許さず、共生社会の実現に向けてネットワーク組織の良さを生かして引き続き進めていきます。

本年もよろしくおねがいします。

東アジアの平和のため、連帯して闘おう 自主・平和・民主のための 広範な国民連合・大阪

新年明けましておめでとうございます。

去年は、安倍政権の対米従属で大企業優先の政治が一段と鮮明になりました。

米国の戦略に沿って安倍政権は中国脅威、朝鮮ミサイル危機を煽り、日米軍事同盟に頼って近隣諸国に対抗する道を選びました。

普天間基地の辺野古移設、米軍の片棒を担ぎ海外での武力行使をめざす安保法制、T P Pの実現に突き進みました。

アベノミクスは円安で大企業には莫大な利益を

もたらしましたが、輸入物価の高騰で自営業者や中小企業・農漁民などの営業と国民生活に大きな打撃を与えました。

一方、沖縄県民の闘いは大きく前進しました。また安保関連法に反対する闘いは全国に広がり、学生も含め連日国会を包囲し、安倍政権を震えあがらせました。原発再稼働やT P P大筋合意に対する反対運動も高まりました。

新しい年、安倍政権を打倒、独立自主の日本をめざし奮闘する決意です。この間、全国で発展した国民の行動、何よりも沖縄県の闘いが教えているように壮大な国民運動の発展こそ鍵です。

世界経済はリーマンショック以来の新たな経済金融危機に突入しつつあります。円安・物価高など国民生活はいちだんと悪化し、不満と怒りが高まり、安倍政権はさらに追い込まれるでしょう。

米軍のアジアからの撤退を求めます。日本のかつての植民地支配と侵略戦争の責任を明確化させ、謝罪と補償の実現をめざします。即時無条件の日朝国交正常化をめざします。

東アジアの平和のため、連帯して闘いましょう。韓統連のいっそうの飛躍を祈念します。

2015年の活動を振り返りながら、親睦と交流を深める

2015年韓統連大阪本部送年のつどい

韓統連大阪本部と生野支部の2015年の活動を振り返り、獲得した成果を共有する「2015年韓統連大阪本部 送年のつどい」が12月13日(日)、「ぱだん」(大阪市生野区)で開かれた。

つどいでは、金隆司(キム・ユンサ)韓統連大阪本部代表委員が乾杯挨拶を行い、「2015年に得た成果を土台に、2016年4月の総選挙では朴槿恵政権を厳しく審判して、自主・民主・統一運動を前進させよう」と語った。

乾杯後は、食事をしながら参加者間の親睦と交流が深め、その後、崔誠一(チェ・ソニル)韓統連大阪本部事務局長がパワーポイントを活用して「韓統連大阪本部・生野支部2015年を振り返る」を行った。また李俊一(イ・チュニル)韓青大阪府本部委員長が、1月23日に大阪で開かれる「コリアン青年フォーラム2016」のアピールを行うとともに、高鉄春(コ・スチュン)韓統連大阪本部事務次長が、4月の韓国国会議員選挙在外投票に向けた「ウリ選挙在日参与センター 選挙人集中登録日(1月31日)」の紹介を行った。

その後、参加者からスピーチを受け、最後に金昌秀(キム・チャンソ)韓統連大阪本部副代表委員が閉会挨拶を行い、送年のつどいは終了した。



▲乾杯挨拶を行う金隆司代表委員

編集後記

新年明けましておめでとうございます。「自主(チャジュ)」は今回の新年号で300号になりました。今年も皆さんの協力を得ながら、内容をより充実していきたいと思ひます。(ソン)